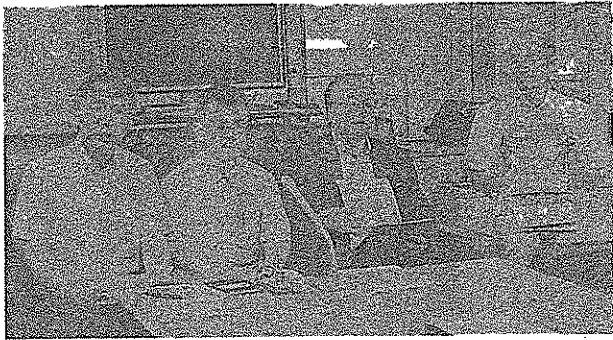


政治に平和つくる知性を

7/13 赤松

大学人が戦争法案反対

北海道大声明賛同広がる



会場で声明を発表する宮内教授（左端）ら—12日、札幌市

戦争法案に反対する北海道大学の教員有志は12日、札幌市内で記者会見し、2日にネット上で発表した「安全保障関連法案に反対する北海道大教員有志の声明」の賛同者が教員総数の1割を超える2700人となったことを明らかにした。

声明は「この法案は、日本が他国の戦争に参加できるものにするためのものであり、日本の若い世代の命を危険にさらすもの」と指摘。「未来世代に希望ある社会を手渡すために、戦争を止める知性を、平和をつくる知性を、平和を築く知性を」と訴えています。呼びかけ人の宮内泰介教授（環境社会学）

弘前大教員有志が会見

青森県の弘前大学の教員有志は12日、弘前市役所で記者会見し、「安全保障法案の法制化に反対」するアピールを発表しました。

呼びかけ人の一人、青森県立大学の河合正雄氏（入文学部講師）は、人文・教育・医学・理工・農学生命科学の全5学部にわたる12人の教員が呼びかけ人となり、2日から12日までの10日間で68人（退職員5人含む）の教員から賛同が寄せられたことを報告。宮内と同席した教育学部教授の宮崎秀一氏、農学生命科学部教授の石川隆二氏、理工学研究所准教授の永瀬龍明氏、生涯学習部教育センター講師の深作拓郎氏がそれぞれの立場から安全保障が提出した法案の危険性や矛盾点を指摘。「真実を伝える教育者・研究者として法案反対の声をあげたい」と語りました。

横浜市立大 95人賛同

横浜市立大学の教員有志16人が呼びかけた、安全保障関連法案（戦争法案）の廃案を求める共同声明に対して、教員、学生、

職員、卒業生ら95人が賛同したことが11日明らかになりました。有志16人は、7月16日に学内でシンポジウムを開催し、法案の問題

神奈川大で学習会

神奈川大学（横浜市神奈川区）で10日、安全保障関連法案に反対する神奈川大教員有志が、同法案の学習会を開きました。教員、学生、卒業生のほか周辺住民らも参加しました。

神奈川大で10日、安全保障関連法案に反対する神奈川大教員有志が、同法案の学習会を開きました。教員、学生、卒業生のほか周辺住民らも参加しました。

九州大有志が声明発表

九州大学の有志が11日、安全保障法案に反対する声明を発表しました。戦時下の同大学について、「研究活動の一環として人道に反する違法行為がなされるなど幾多の痛みの歴史がある」とし、マジ

九州大学の有志が11日、安全保障法案に反対する声明を発表しました。戦時下の同大学について、「研究活動の一環として人道に反する違法行為がなされるなど幾多の痛みの歴史がある」とし、マジ

東郷氏の話を聞く参加者10日神奈川大



が講師を務めました。東郷氏は、政府の主張を紹介しながら法案の違憲性などを説明し、杉田氏は、集団的自衛権は同盟国の間違った戦争に巻き込まれるもので「国際政治の立場からみても間違っている」と述べました。

参加者で、経営学部4年の中村和行さん（22）は「これから、有志の先生や地域の人たちと共同して学習や交流をすすめていきたい」と話しました。